

明星

亀山市立白川小学校だより
第80号
平成28年3月7日 (文責 浅熊)

～であい ふれあい そして未来へ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成

6年生を送る会(3月2日)

「卒業式まであと何日・・・」と数える声が聞こえてきそうな毎日になってきました。2日(水)の3,4時間目には、「6年生を送る会」が行われました。

5年生の司会で入場してきた6年生も、ちょっと緊張気味でした。実行委員長の長瀬あかねさんからあいさつがあり、各学年の出し物へと続きました。

劇あり、歌あり、ダンスありとどの学年も6年生への感謝の気持ちと、この一年間がんばってきてくれた6年生一人ひとりへの思い出がいっぱい詰まった会になりました。各学年から6年生へのプレゼントを渡し、6年生からは、「大きな古時計などのメドレー」を演奏してもらいました。

会の終わりには、「今日の日さようなら」をみんなで歌い、最後に山中あやかさんからあいさつがあり、歌を歌って6年生を見送りました。

18日の卒業式まであと少し、これからしっかり練習して、すてきな卒業式をみんなで祝いたいと思います。お忙しい中、ご参加いただきましたお家の方、ありがとうございました。



内モンゴルの遊びを体験<すみかく>

3月4日(金)今年度最後のすみかくを、三重大学から来てもらっているタナさん(中国の内モンゴル出身の留学生)に授業をしてもらいました。内モンゴルの家や子どもたちがよく遊んでいる手遊びや「シャガイ」という羊の骨などで作った日本のお手玉のような遊びなど、いろいろ教えてもらいました。また、大学からも10人ほどの学生の皆さんも参加してくれて、楽しくにぎやかに遊びができました。

遊び一つとってみても、いろいろな国で違いがあるのだなあと改めてびっくりしました。この日使った「シャガイ」は、タナさんの好意で今、校長室の前に展示し、みんなで楽しく遊んでいます。

